

腎友会 山陽支部 会員・役員を募集!

私たちと一緒に、腎友会活動に参加していただける方を募集しています。
スタッフにお気軽にお声掛けください。

腎友会は、腎不全患者様たちの全国組織です。
「全国」「県」「地区」「病院」それぞれの単位で腎友会があり、
医療法人辰川会は、「腎友会山陽支部」の活動を支援しています。

お問合せ先 山陽腎クリニック ☎ 084-928-5500(代)

役員紹介

一緒に活動
しませんか?



支部長 北村綾子さん
副支部長 藤田順子さん 監査役 岡田鈴美さん

腎友会(全腎協) URL <https://www.zjk.or.jp/> 広島県腎友会 URL <http://hirojin.net/index.html>

人とつながり、まちを元気に

コミュニティナース 折見佳子

皆さん、はじめまして!コミュニティナースの折見(おりみ)です。皆さんはコミュニティナースって聞いたことありますか?

簡単にご説明すると、「地域の皆さんのそばにいる、ちょっと身近な看護師」といったところです。病院で患者さんが来院されるのを待つのではなく、病院を飛び出して、困っている人に会いに行くのが役割です。

仕事や子育てが忙しく、自分の健康管理になかなか手が回らなかったり、家にこもりがちで健康づくりの場に出られなかったりする方に、看護師の知識と経験を生かして寄り添います。健康の不安やお悩みの相談に応じたり、

地域の皆さんがふれあえる楽しい活動を企画したりしていきます。と言ってもコミュニティナースの仕事に決められたものはありません。地域の皆さんの声を聴きながら、私なりの活動をしていきたいです。

もし私の姿を見かけたら、気軽にお声がけいただけると嬉しいです。皆さんの元気をお届けします!



ふれあい

「グループ理念」 ともに歩む、ともに生きる



122
2020.8 発行
TAKE FREE
辰川会 広報誌



認知症サポートチームメンバー

お楽しみ会ではピアノの生演奏や風鈴づくりを楽しみました♪大好評です!



さんさん倶楽部
毎日 16時~

お楽しみ会
第1・3土曜日 / 第2・4金曜日 12時45分~

認知症サポートチーム(DST)の取り組み

3階病棟 副主任看護師 池添公恵

みなさんは認知症ケア専門士をご存じですか?

認知症対応の知識と技術を生かし、認知症の人へのより良いケアの方法を考えて実践したり、ご家族やスタッフへアドバイスしたりするのが主な役割です。

私は去年この資格を取得し、認知症サポートチーム(以下DST)を立ち上げ、認知症の入院患者様が入院中や退院後の生活で不安や混乱なく過ごせるよう、あらゆる角度からサポートしています。

まず入院時に、認知症の状態を把握するため「せん妄リスクアセスメントシート」を作り、リスクが高いと判断した患者様にDSTが介入しています。週1回、医師や看護師、公認心理師など様々な職種が集まり、患者様の生活

リズムを改善したり不安をやわらげたりする方法を話し合っています。入院前の生活をご家族に教えていただき、できる限りこれまでと同じ生活が続けられるということを最優先に考え、対応を決めています。

この他、毎日の「さんさん倶楽部」、週1回の「お楽しみ会」といった院内デイケアを充実させ、レクリエーションや頭の体操などを通して、認知機能や心身機能の維持・改善を図っています。スタッフ向けに定期的に勉強会をしたり、認知症対応についてアドバイスをしたりしています。

認知症の患者様とご家族が安心できる環境を作り、退院後もこれまでと同じような生活が続けていけるように、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでいきます。

赤ちゃんが誕生しました★
2020年3月29日 3:46PM
特別養護老人ホームくさど
介護福祉士 岡崎翔子さん 第1子
おかざき こうよう
岡崎 昊陽 くん

認知症に関するお知らせ
オレンジカフェ 近日再開予定
● 特別養護老人ホームくさど 毎月第2、第4土曜日 14時~16時
● 特別養護老人ホームしんがい 毎月第3土曜日 14時~16時
● ケアローソン ※当面休止させていただきます。
認知症を学ぶ会
● 特別養護老人ホームしんがい 毎月第3木曜日 19時~20時30分

Ubie(AIによる問診)
診察時に患者様とより向き合うため、AIによる事前問診を導入予定です。どうぞお楽しみに♪
エンドトキシン測定装置
透析液水質向上のため、測定装置がさらに良いものになりました!水質管理をしっかり行っています。

辰川会グループ
[医療法人辰川会]
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel:(084)923-1133(代) Fax:(084)923-1158
山陽腎クリニック 人工透析科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel:(084)928-5500(代) Fax:(084)928-5535
山陽ぬまぐま腎クリニック 透析科/透析内科/外科/内科
〒720-0311 福山市沼隈町専深2031-1 Tel:(084)980-0034(代) Fax:(084)987-3450
[社会福祉法人さんよう]
特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市専戸5丁目8番24号 Tel:(084)973-9911 Fax:(084)928-9988
特別養護老人ホームしんがい
〒721-0955 福山市新瀬町3丁目19番27号 Tel:(084)961-3955 Fax:(084)961-3950

職員を対象とした認知症講座 オレンジサミット

山陽病院では、認知症サポート医である岩本医師を中心にオレンジサミットを定期的に開催しています。

「アルツハイマー型認知症」「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」など疾患についてのものだけでなく、高齢者が直面する「高齢者の運転について」「死について」など、認知症とは少し離れたこともテーマとしています。

認知症について知るだけでなく、高齢者の生活全般をサポートするための知識を取り入れ、スタッフに向けた講座をしています。

講師 岩本竜一

新型コロナウイルス感染防止の対応

2019年11月ごろ中国で発生した新型コロナウイルス感染症ですが、2020年2月ごろから日本国内でも様々な報道がされるようになりました。当グループでも3月初旬に院内の感染委員会を中心に新型コロナ感染対策委員会を設立し、様々な取り組みをしています。

3月、4月は県内での感染拡大に伴い、急遽新たな対策を講じるなど、ばたばたと慌ただしい日々でした。混乱が続く中、患者様やご家族の皆様にはご迷惑やご不便をおかけすることもありました。スタッフもマスクやアルコール等の手指消毒薬不足にも悩まされながら、自分自身の行動の自粛を含め、結束を固める毎日でした。マスクやアルコールの寄付や支給などもあり、現在は充足しています。

3月9日から入院患者様の面会制限をはじめ、3月17日からは全面禁止とし、現在も継続しています。そんな中、4月中旬よりオンライン面会をはじめました。入院患者様とご家族が会うことができない。どうにかすることはできないか…と模索した結果のスタートでした。その後、同グループの特別養護老人ホームでもオンライン面会を実施し、「顔を見ることができて安心する」という声をいただいています。

外来患者様で、来院するのが怖いという方は電話診察をさせていただいたケースもありました。しかし、採血や検査などが必要な場合や実際にお会いしてわかることもありますので、市中の感染状況を確認しながら、なるべくご来院いただくことをお願いしています。少しでも不安なくご来院いただけるように、山陽病院では感染対策を以下の通り行っています。

- ① 全ての入館者の体温チェック
- ② 採血コーナーでは、密にならないよう順番を決めて呼び込む
- ③ 希望に応じて、診察や会計の待ち時間を車内で過ごしていただく
- ④ 待合から雑誌や新聞類の撤去

また、4月中旬からは発熱や風邪症状のある方は車内での診察を開始。5月からは、正面玄関前にテントを設置。発熱の方はテントで問診しています。職員全員の体温測定や、体調管理はコロナウイルス流行前から続けています。

安心して治療や介護サービスを受けていただけるよう、辰川会グループでは様々な取り組みを行っております。

感染状況が日々変わっております。不安なこと、疑問点などございましたらいつでもスタッフへお声かけください。



ご支援ありがとうございました

実習生が来てくれました!

山陽病院リハビリテーション科で2か月間にわたり実習を受けました。リハビリ科では4~5人のチームを形成し、患者様の病状や状況、回復傾向をチーム内で共有し治療します。見落としがちな問題点もチーム内で共有することで気付くことができ、患者様の早期回復に繋がるリハビリが行われていると感じました。現場で働くスタッフさんに少しでも近づけるようこれからもがんばってまいります。(代表:福山医療専門学校 作業療法学科)

【実習生受入状況 4月~7月】

福山医療専門学校	4月6日~5月20日	山陽病院 リハビリテーション科	1名
	6月8日~7月21日	山陽病院 リハビリテーション科	1名
広島工業大学	5月28日~6月17日	山陽病院 山陽腎クリニック 透析室	2名
広島国際大学	6月22日~7月10日	山陽病院 山陽腎クリニック 透析室	1名



くるみん認定を取得しました

2020年4月、医療法人辰川会が「くるみん認定」を取得しました。くるみん認定とは、仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる企業に対し、厚生労働省が「子育てサポート企業」として認定するものです。

認定されるためには、仕事と子育ての両立のための行動計画を策定し、計画に定めた目標を達成したか、育児休業取得者の割合や職員の労働時間が基準を満たしているか、子育てしやすい制度を整えているか、などの基準を全て満たさなければなりません。

辰川会は女性が働く職場であり、結婚・出産をしても辞めずに長く働き続けてほしいという思いから、これ

までワーク・ライフ・バランスに取り組んできました。また、近年は男性の育児参加推奨に積極的に取り組み、対象の職員に声掛けするなどして2018年には初の男性育児取得者も誕生しました。こういった取り組みがくるみん認定の取得に繋がりました。

今後は、育児はもちろん介護、病気療養、その他のプライベートと仕事を両立させながら、誰もが安心して働き続けられる職場環境づくりにより一層取り組んでいきます。



新入職員リフレッシュ研修

6月27日、リフレッシュ研修に参加し「マシュマロチャレンジ」というチームビルディングゲームを行いました。パスタ、テープ、ひもを使って自立可能なタワーをつくり、一番上にマシュマロを置いて、制限時間内にどれだけ高くできるかというゲームです。同じ目標を持つことで自然とコミュニケーションが生まれ、久しぶりに顔を合わせるメンバーとは思えないほど協力できました。2回チャレンジし、僕らのチームは一度目に土台が崩れ最下位でしたが、失敗から学び土台を強くすることで二度目は89.5cmと最も高くす

ることができました。このチャレンジから、同じ目標を持つて協力し合えば1人ではできないことができるようになること、何事も土台が1番大切だということを学びました。

入社して3ヶ月経ちましたが、仕事でも同じことが言えると思います。スタッフの目指すところがバラバラだと最高のパフォーマンスはできません。同じ目標を持って協力する事で最大限の医療サービスを提供できると思っています。また、医療行為をする上で最も大切なのが患者さんとの信頼関係だと感じています。



まだまだ医療従事者として駆け出したばかりですが、患者さんやスタッフに信頼される臨床工学技士になれるよう日々努力していこうと思います。

おひさま保育園 夏を楽しんでいます♪

夏の暑さや新型コロナに負けず、園児たちは毎日元気いっぱい過ごしています。

園庭にあるウッドデッキでランチを楽しみました。外の空気を吸いながらの食事はいつもと雰囲気が違うからみんな食欲がわくようで、おかわりがすすみました。

今年は感染予防のため水を溜めたプール遊びはできませんが、人工芝の上で、シャンプーの空き容器やじょうろを使い水遊びを楽しんでいます。

庭園では食育の一環として野菜と果物を育てていますが、夏野菜の代表であるトマトがたくさん実をつけています。毎日水やりをしながら色づくのを楽しみにし、真っ赤に

なったトマトを収穫しています。自分で採ったトマトはより一層おいしいようで、普段はトマトが苦手な園児もパクと食べ、「まだ食べたい!」と…うれしい驚きです。

